

管内地域銀行の令和2年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の減少はあるが、債券等関係損益の増加等により、前年同期に比べ2.01%の増益。
- 当期純利益は、株式等関係損益の減少や与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ13.58%の減益。

(単位：億円)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	13,337	13,037	13,104	+67	+0.51%
資金利益	11,297	10,958	10,658	▲299	▲2.73%
役務取引等利益	2,003	1,965	1,969	+4	+0.21%
債券等関係損益	▲290	▲106	269	+375	+353.19%
うち、債券等償却(※)	▲1	▲14	▲40	▲25	▲172.88%
経費(※)	▲8,846	▲8,762	▲8,744	+18	+0.20%
実質業務純益	4,490	4,274	4,360	+86	+2.01%
コア業務純益			4,091	—	—
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)			3,903	—	—
与信関係費用(※)	▲343	▲821	▲1,193	▲372	▲45.35%
株式等関係損益	851	674	391	▲282	▲41.88%
うち、株式等償却(※)	▲7	▲33	▲135	▲101	▲297.52%
当期純利益	3,429	2,896	2,502	▲393	▲13.58%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	104.8兆円	107.1兆円	110.1兆円	+3.0兆円	+2.81%
貸出金(末残)	78.3兆円	80.7兆円	82.7兆円	+1.9兆円	+2.46%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ増加、不良債権比率は低下。

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比
不良債権額	12,952億円	12,672億円	12,858億円	+185億円
不良債権比率	1.63%	1.55%	1.53%	▲0.02ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、前年同期に比べ低下。
- 国内基準行の自己資本比率は、前年同期に比べ上昇。

(国際統一基準行：4行)

(国内基準行：18行)

	31年3月期	2年3月期	前年同期比
総自己資本比率	13.78%	13.17%	▲0.61ポイント
Tier1比率	13.14%	12.37%	▲0.77ポイント
普通株式等Tier1比率	13.14%	12.37%	▲0.77ポイント

	31年3月期	2年3月期	前年同期比
自己資本比率	9.72%	9.96%	+0.24ポイント

(注1) 管内地域銀行の集計対象は22行(地方銀行13行、第二地方銀行8行及び埼玉りそな銀行)。30年3月期は23行。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第1課
TEL 048-600-1145

管内信用金庫の令和2年3月期決算の概要【速報集計値】

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、債券等関係損益の増加や経費の減少等により、前年同期に比べ13.55%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加や株式等関係損益の減少等により、前年同期に比べ18.24%の減益。

(単位：億円)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,156	6,089	6,204	+114	+1.88%
資金利益	5,830	5,865	5,864	▲0	▲0.01%
役務取引等利益	263	261	275	+13	+5.32%
債券等関係損益	82	8	100	+92	+1,132%
うち、債券等償却(※)	▲2	▲0	▲6	▲5	▲1,434%
経費(※)	▲5,008	▲4,913	▲4,868	+44	+0.91%
実質業務純益	1,148	1,175	1,335	+159	+13.55%
コア業務純益			1,234	—	—
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)			1,142	—	—
与信関係費用(※)	▲222	▲274	▲426	▲152	▲55.61%
株式等関係損益	134	91	22	▲68	▲75.43%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲2	▲21	▲19	▲872.90%
当期純利益	828	790	646	▲144	▲18.24%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	50.8兆円	51.6兆円	52.4兆円	+0.7兆円	+1.43%
貸出金(末残)	26.6兆円	27.1兆円	27.3兆円	+0.2兆円	+0.89%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比
不良債権額	11,022億円	10,626億円	10,364億円	▲262億円
不良債権比率	4.12%	3.88%	3.75%	▲0.13ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前年同期に比べ上昇。

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比
自己資本比率	10.28%	10.07%	10.08%	+0.01ポイント

(注1) 管内信用金庫の集計対象は72金庫。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各金庫の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第2課
TEL 048-600-1148

管内信用組合の令和2年3月期決算の概要【速報集計値】

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の増加等により、前年同期に比べ26.96%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等があったものの、資金利益の増加等により、前年同期に比べ46.49%の増益。

(単位：億円)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	1,147	1,176	1,229	+52	+4.49%
資金利益	1,120	1,139	1,173	+33	+2.94%
役務取引等利益	▲20	▲20	▲15	+5	+25.34%
債券等関係損益	35	43	59	+15	+35.39%
うち、債券等償却(※)	—	—	▲5	▲5	—
経費(※)	▲935	▲932	▲919	+12	+1.37%
実質業務純益	211	243	309	+65	+26.96%
コア業務純益			250	—	—
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)			240	—	—
与信関係費用(※)	▲48	▲151	▲175	▲24	▲15.87%
株式等関係損益	23	5	▲4	▲9	▲175.69%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲1	▲9	▲7	▲378.14%
当期純利益	139	95	140	+44	+46.49%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (未残)	8.9兆円	9.0兆円	9.1兆円	0.1兆円	+1.89%
貸出金 (未残)	4.4兆円	4.6兆円	4.7兆円	0.1兆円	+2.55%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比
不良債権額	2,548億円	2,183億円	2,011億円	▲172億円
不良債権比率	5.67%	4.72%	4.24%	▲0.48ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	30年3月期	31年3月期	2年3月期	前年同期比
自己資本比率	11.92%	11.45%	11.16%	▲0.28ポイント

(注1) 集計対象は51組合(平成30年3月期及び平成31年3月期は52組合)。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各組合の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第3課
TEL 048-600-1254